## PATENT COOPERATION TREATY

## **PCT**

# INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference P770-PCT	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below
International application No. PCT/JP2004/006200	International filing date (day/month/year) 28 April 2004 (28.04.2004)	Priority date (day/month/year) 15 May 2003 (15.05.2003) ]
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC 7 C08L 9/00		
Applicant THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.		

1.	. This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).		
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.		
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.		
3.	3. This report contains indications relating to the following items:		
	Box No. I	Basis of the report	
b	Вох №. П	Priority	
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability	
	Box No. IV	Lack of unity of invention	
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement	
	Box No. VI	Certain documents cited	
	Box No. VII	Certain defects in the international application	
	Box No. VIII	Certain observations on the international application	
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis .2).		

	Date of issuance of this report 18 November 2005 (18.11.2005)
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland	Authorized officer Yoshiko Kuwahara
Facsimile No. +41 22 740 14 35	Telephone No. +41 22 338 90 90

Form PCT/IB/373 (January 2004)

## 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

Alamer I thought		
出願人代理人	4002 NUL E 0 0 03 JUN 2004	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
あて名	P C T	
〒 105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル	国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]	
青和特許法律事務所	<sup>発送日</sup> (日. 月. 年) <b>01. 6. 2004</b>	
出願人又は代理人 の書類記号 P770-PCT	今後の手続きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 国際出願日	優先日	
PCT/JP2004/006200 (日.月.年) 28.0	4. 2004 (日.月.年) 15. 05. 2003	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl'C08L 9/00		
出願人(氏名又は名称) 横浜ゴムを	朱式会社	
1. この見解書は次の内容を含む。		
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解告を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解告が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か		
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。		
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。		
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。		
見解告を作成した日 20.05.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 森川 聡	
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3456	

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第1欄 見解	の基礎			
	1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。			
この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。				
2. この国際 以下に基	祭出願で開示され 基づき見解書を作	かつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、		
a. タイプ	<i>†</i>	配列表		
		配列表に関連するテーブル		
b. フォ	ーマット 🔲	<b>春面</b>		
		コンピュータ読み取り可能な形式		
c. 提出	時期 🔲	出願時の国際出願に含まれる		
		この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された		
		出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された		
た	5 らに、配列表又 上配列が出願時に うった。	は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が		
4. 補足意	<b>意見:</b>			
		•		

#### 国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/006200

第V枫	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につい それを裏付る文献及び説明	てのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 
1.	見解	
新	規性(N)	請求の範囲     1-6     有       請求の範囲     無
進	歩性(IS)	請求の範囲     1-6     有       請求の範囲     無
産	業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲     1-6     有       請求の範囲     無

#### 2. 文献及び説明

文献1:US 5750615 A (THE GOODYEAR TIRE & RUBBER COMPANY) 1998. 05. 12

### 請求の範囲1-6

請求の範囲1-6に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1に対して進歩性を有する。

文献 1 には、ゴム組成物が、分子中に結合されたフラーレンを有する変性共役ジェン系重合体が含まれるものであることが記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、加工性が良好で、モジュラスが高く、かつモジュラスと発熱性とのバランスに優れ良好なコールドフロー性を示し、t a n  $\delta$  (6 0  $^{\circ}$ ) が低く t a n  $\delta$  (0  $^{\circ}$ ) が高いものであるという有利な効果を発揮する。